

第3学年国語科

(1) 単元名 へんとつくり

(2) 指導案

第3学年国語科学習指導案

1 単元名 へんとつくり (4/4 時間)

2 単元の目標

漢字のへんとつくりの構成について理解し、漢字への興味を深めることができる。

3 本時の学習

(1) 目標

へんとつくりで構成する漢字の中で、自分のお気に入りの漢字をプログラミングし紹介し合い、漢字の構成に興味をもつことができるようにする。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点 (◇評価)
1 自分が集めたお気に入りの漢字のテーマを発表する中で、本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを確認し、活動への意欲を高める。 ・へんとつくりを提示することにより、漢字の構成に着目できるようにする。 ・自分が集めた漢字のテーマを確認させる。
お気に入りの漢字をプログラミングを使ってしょうかいしよう。	
2 へんやつくりを意識しながら部品を作り、漢字の構成のおもしろさが紹介できるようにプログラミングする。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるようにどんなふうに見せたらいいかを考えながら、部品を作成させる。 ・必要に応じて漢字のへんやつくりを調べられるように、辞典等を用意する。 ・友達と意見交換させることにより、自分の意図した変化をプログラミングできるようにする。
3 友達の作ったプログラムを見て回り、興味をもった漢字をプリントに集める。	<ul style="list-style-type: none"> ◇プログラミングするなかで、漢字のへんとつくりに興味をもっている。 ・グループと自由の二段階で交流させる。 ・作った看板を手がかりにして自由に交流させることにより、主体的に漢字のおもしろさに出合えるようにする。
4 漢字の構成について気がついたことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の構成について興味をもつことができるように声かけをする。 ◇友達と紹介し合うことを通して、漢字の構成に興味をもつことができる。
5 もっと調べたくなった漢字を発表する中で、本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと調べたくなった漢字を発表させることにより、これからの漢字学習への意欲を高める。

(3) 評価及び指導の手立て

「十分満足できる」と判断できる状況	漢字の構成に目を向け、工夫しながらプログラミングするなかで、組み合わせることにより意味が生じてくる漢字についての理解が深まっている。
「おおむね満足できる」状況にするための手立て	教科書や漢字ドリルや辞典を調べるように助言したり、友達のアドバイスを参考にさせたりすることにより、自分なりにプログラミングを作成することを通して、漢字に興味をもつことができるようにする。

